

【本計画の目的】(P,4)

公園に求められるニーズの変化等を予測しながら、公園機能の分散や相互補完などにより、今ある公園を最大限に活用し、今よりも質や機能の特性を活かした、子育てしやすい公園を始めとする「誰もが快適に活用できる公園」を実現し、区全体の魅力や価値の向上につながるまちづくりに資することを目的とします。

目指す公園像 (P,51)

みんなを健やかに、
まちを魅力的にする、
すみだの公園

(理由)

公園は、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用するものであり、遊びの場や憩いの場、スポーツやレクリエーションの場など、利用者によってニーズは多様であることを踏まえ、誰もが快適に公園を利用できるようにするため、利用者の心や身体を健やかにする公園づくりを目指します。

また、公園が人と人をつないでいるまちの一部であることを踏まえ、区民や民間事業者などとの連携の下、公園を地域コミュニティ形成の場、にぎわい創出の場として今まで以上に活用することで、公園を核として周辺の方々の日常生活を豊かにし、まちの魅力を高め、暮らし続けたい、働き続けたい、訪れたいと思うまちづくりを目指します。

3つの視点 (P,52~53)

視点1：「人」の視点
(重視するキーワード)
子ども・子育て世帯、高齢者

視点2：「使用・利用」の視点
(重視するキーワード)
健康・スポーツ、にぎわい

視点3：「場所・存在」の視点
(重視するキーワード)
環境、防災、景観

(理由)

子どもから高齢者までの誰もが快適に活用できることが重要であるため、視点1は「人」の視点としました。

また、公園の価値には利用価値と存在価値がある中で、視点1の「人」がどのように公園を使用・利用するのかという「使用・利用」の視点を視点2とし、公園があることで周辺の人や環境にどんな影響を与えるかという「場所・存在」の視点を視点3としました。

さらに、各視点において、目指す公園像の実現に向けて特に重要と考えるワードを「重視するキーワード」と位置付けます。

取組・施策 (P,54~76)

【公園機能の相互補完】(P71~72)
複数公園を一つのまとまりとし、公園の機能を分散させた上で、互いに機能を補完させる。

【公園の機能】

取組	：さまざまな人の多様な活動の拠点となる公園をつくります	
施策	-1：子どもや子育て世帯が利用しやすい公園をつくる	等
施策	-2：高齢者の健康寿命の延伸に向けた公園をつくる	等
取組	：歴史・文化、水辺など、すみだらしさをいかした、まちの顔となる公園をつくります	
施策	-1：まちのシンボルとなり、魅力的な都市景観を形成する公園をつくる	等
施策	-2：歴史や文化をいかした公園をつくる	等
取組	：コミュニティを育て、まちのにぎわいをもたらす公園をつくります	
施策	-1：まちを訪れる人が増え、さまざまな交流が生まれる公園をつくる	等
施策	-2：地域コミュニティの拠点となり、地域のにぎわいが生まれる公園をつくる	等
取組	：まちの緑や生きものを育み、環境にやさしい公園をつくります	
施策	-1：まちの自然環境の保全や創出に資する公園をつくる	等
施策	-2：自然の特長やたらしきを活用した公園をつくる	等
取組	：災害に強い安全なまちづくりに寄与する公園をつくります	
施策	-1：身近な防災活動の拠点や避難場所等として活用できる公園をつくる	

管理運営 (P,77~79)

：維持管理
：運営管理

【取組・施策等の効果的な推進方法】
行政機関や民間企業との連携
D X 民間の活用
推進方法